



**VOL 8**

2008年2月号  
発行2008年1月30日  
日本山岳会 山岳地理クラブ  
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

## 久しぶりの富士登山

今井 秀正

昨年8月に富士山へ2週続けて登った。数年ぶりのことだ。富士山は眺めれば素晴らしい、そして世界にも誇れる山だが、登る山としてはあまり面白いとは思わないから、山好きの人たちは交通が便利ではあってもわざわざ登山に行く気にはならないようだ。当会の皆さんも同感ではないだろうか。むしろ登山は趣味でもないが、日本で一番高い山には登っておきたいという人々や、ほかの山々と比べると外国人が随分多いようで「客層」が違う様に思う。少し前のその外国人はアジア系の人たちが多かったが、最近は白人系が団体登山かと思うくらい多くなっているように思う。

当初の計画では久しぶりの富士登山と、そこからアマチュア無線の電波を飛ばしてみるための単独登山のつもりだった。2週続けて登ることになった理由は、計画を知った普段山に登らない連中5人が連れて行ってくれと言い出したことと、それを聞いた外国人2人が帰国前に登っておきたいから是非と言い、そして初めての山だが日本で一番高い山へ登りたいという小生の甥の合計8人に勝ってしまったことによる。8人のうち5人は学生である。

お決まりのご来光をコース中どこでも見られるのは東斜面の須走り口だが、小生はいつも下山にしか使わないコースなので下りコースしか経験がなく、登りコースは下見をしておいたほうがよいだろうと思ったのが1回目の昼間の日帰り往復であった。翌週8月の最終土曜日が本番の2回目夜間登山である。富士山は元気に駆け上がると高山病になることを散々言い聞かせたのだが、とにかく若者は元気がやがやしゃべりながら早いこと。6合目中休止、7合目大休止と夜食と順応を図りながら頂上ご来光に時間を調整しながらの登り。若者はほとんど無言になってきた。案の定、若者4人は8合目の小屋で付き添い1人を付けてリタイア。夜間登山による眠さと高山病であろう。夜間登山計画が若者とはいえ、無理をさせたのかと反省したところだ。8合目で時間をとられているうちに、シーズン最後の週末とあって大変な登山者で登山路は渋滞。とても計画の時間に頂上は無理だなど思っていたところ、脇で団体のガイドが同様な内容を皆を集めて伝えていて、これから特別なコースへ入るといっているのではないか。さては下山路を行くな、と思い、リタイア以外の残る4人でコースを変えた。これが正解で以後順調で頂上直下でご来光が近くなった。頂上を見れば人の陰が鈴なりのようなのでこれならば直下の良い岩陰でご来光をとい

うことにした。おかげでゆっくりと充分に日の出を見ることが出来た。結局、頂上到達は中年男女2名と小生および甥の4人のみ。頂上お鉢めぐりは女性を除く3人になってしまったが、ゆっくり楽しむことが出来た。風もなく展望良好で、満足な結果であった。頂上剣が峰の2等三角点は直下から人の行列で、それぞれ写真撮影をして交代という按配なので20分ほど並ぶ破目になったが、三角点は十数年ぶりに触れることができた。また、その脇には観測用が通信用かと思われる高いやぐらが並んでいる。



無線の方は、1回目で下見の際は昼間であったが6合目、7合目、頂上から439.02MHzのレピータ(筑波)経由で上尾市の遠山会員と5WでM5のクリアな交信ができた。ダイレクトでも出来るはずだが、試さなかった。また頂上から長野県上田方面の近藤会員とは、確か美ヶ原の439.32MHz経由だったと思うがこれもクリアな交信ができた。やはり富士山は日本で最高のアンテナという実感があっていい経験が出来た。ところが2回目のときは、どの地点でも全く交信ができず、無線機に100%頼ることに注意しておかなくては行けないという経験をした。

45年もあちこちの山へハイキングをしているが毎回色々な勉強をさせてもらっている。これもまた、楽しいことだ。これからも体力が続く限り彷徨うつもりでいる。

\*\*\*\*\*

### シンポジウム「現代登山とGPS」開催のお知らせ

科学委員会主催で表題のシンポジウムが開催されます  
日時：平成20年2月1日(金) 17:00~21:00  
場所：東京体育館第一会議室 (JR千駄ヶ谷駅前)  
内容：基調講演「GPS活用の現状と可能性」  
電気通信大学名誉教授・芳野超夫氏

講演：「カシミールとGPS」

筑波大学付属高等学校教諭・田代 博氏

ほか JAC会員 大蔵喜福氏、宮崎統一氏、安井康夫氏の講演とパネルディスカッション「GPSの使い方」があります  
参加費：500円(資料代)  
参加申込：AGC会員は平野 彰氏へ連絡してください  
詳細は「山」12月号をごらんください

**第3回・読図研修報告**

**「奥武蔵・大高山周辺」**

**鶴田 實**

山岳地理クラブで行っている読図山行は今回で3回目を数える。テーマは一般向けハイキングコースを利用して地形図とコンパスで常に現在地点を追い求めながら歩くこと。

吾野駅に9時全員集合する。天気晴朗なれど風寒し。さっそく配布された資料により今日のコースを確認して出発する。踏切りを渡って駅の南側の墓地前へ出る。西武メモリアルパークの事務所があり、その横に「大高山・天覚山」の標識があり登山口が確認された。地形図上には破線は無いが踏跡のしっかりした道であった。杉の木立の中を歩を進める。小さなピークを巻いて少し行って・419m 地点を行過ぎた事に気が付き引き返す。場所を確認して、GPSで緯度・経度を計測。更に歩を進めて前坂を確認、峠の十字路であった。

次は林道を横切って岩尾根を登りつめる。そこが大高山(493m) せまい頂上だ。続いて393m 点、経緯度の計測のみで通過する、そこから一寸先のピークの日だまりで昼食にする。元気が出たところでちょっと頑張るとそこはもう天覚山 445.5m の頂上であった。先客があり宴の跡で賑やかであった。三角点の標石があり、GPSで緯度・経度を計測して、写真撮影をする。すぐ下の両峰神社跡と記された石柱を横に見ながら、尾根を下り、今回のメインである、主稜線から右に分岐する、指示されていた尾根を捜す。送電線と沢と尾根を確認して急な藪の斜面を下り、かすかな踏跡のある尾根から送電線の下に出て、ようやく現在地の確認ができた。あとは送電線の巡視路を辿り里に出た。計画どりの読図山行が出来て無事終了する。

次は今日一番の楽しみ「かたくりの郷」での打上げだ。先ずはビールで乾杯、話は弾み楽しさで一杯であった。

振り返って見て このコースは地形図上に破線が無く、小さなピークも省略されており、標識も少なく、現在地と行先の確認が難しく読図山行にふさわしいコースであった、全員緊張の連続であったが無事終了した。

<記録> 2008年1月19日(土)参加者 CL北野、SL大西、平野、近藤、鶴田(實)、鶴田(泰)、高橋 今井(計8名)  
<コストタイム> 西武秩父線吾野駅出発 9:00 419m 地点 10:05~10:15 前坂(峠) 10:25 林道横断 10:40 大高山・493 m 11:05~11:15 392m 地点 11:50 小さなピークで昼食 12:15~12:55 天覚山 445.5m 13:25~13:45 東吾野「かたくりの郷」 14:50 実歩・読図4時間30分 休憩・読図1時間20分、合計5時間50分

<経緯度の計測> 419m 地点 N35° 54 11.2 E139° 13 27.4 大高山 493m N35° 53 53.3 E139° 13 58.8 392m 地点 N35° 53 32.6 E139° 14 23.2 昼食のピーク N35° 53 32.1 E139° 14 25.8 天覚山 445.5m N35° 53 12.3 E139° 14 56.8



**第4回は「ハイキングコース2」**です

2008年2月16日(土) 場所：三浦半島・金沢自然公園付近  
集合：京急金沢文庫駅 AM9:00です。事前勉強会を次回

の例会で行います。1/2.5万図「戸塚」コンパス、分度器、筆記具を持参ください (担当：鶴田)

**2007年度会計報告**

収支表 2008/1/12

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	58,114-20,00	通信費(切手)	4,800-
会費収入	0-	事務用品(封筒ほか)	7,794-
		分水嶺報告書	2,400-
		購入分	63,120-
		2008年度繰越	
合計	78,114-	合計	78,114

上記相違ありません 会計担当 高橋素子

なお、今年から山岳地理クラブ 専用の口座を設けました。会費などの振込に利用ください

**ゆうちょ銀行 記号：10130 番号：12841191**

**名義：タカハシ モトコ**

**例会の議事録**

2008年1月9日(水) 19:00~20:15 於JAC集会室A  
出席者 9名(北野、平野、遠山、高橋近藤、鶴田(実)、鶴田(泰)、大西、近藤、今井(順不同))

内容：1. AGCレポート特別版の編集が大体終わった。原価で1冊2000円ほどになる。全額を会費で対応することが出来ないの一人当たり1000円の負担を了承願いたい。出席者全員了承。(近藤)  
2. 読図研修について今後のカリキュラムを配布、説明。中級の研修を行う地域について考えておいてほしい。(遠山) 3. 来る2月1日(金)17時から21時までシンポジウム「現代登山とGPS」が東京と体育館で開催される。是非参加願いたい。詳細は「山」12月号のインフォメーション欄の広告を参照されたい。(平野)

終了後は「鯨の家」にて懇親会(9名) 以上(文責今井)

**お知らせ**

**会費徴収のおねがい**

2008年度分の会費を徴収しますので宜しくおねがいいたします。例会に出席できない方は、ゆうちょ銀行の口座に振込みも可能です。(会計報告欄参照ください)(会計担当・高橋)

**AGCレポート特別号 特集「AGCの分水嶺踏査」**発行  
会員には1部ずつ配布いたしました。希望者には残部数あるかぎり有償頒布いたします。¥1,200-(送料別)の予定。希望者は近藤まで連絡ください。

**次回の例会**

日時 **2月6日(水)** 18:30から 於：山岳会 ルーム  
テーマ：読図研修の報告、次回の詳細説明、ほか  
例会終了後の懇親会も是非出席ください  
なお、同日 15:00 から地図整理を行います

**編集後記**

>懸案だったAGCの分水嶺踏査のまとめがようやくできあがった。AGCレポートの特別号として、約50頁のなかに参加した会員の苦勞の記録が綴られている。振り返ってみても終生忘れる事のない出来事だったと思う。>今回特別号として作成いたしました。今後も年1回ぐらい、このような特集を組んだ特別号が発行できることを願うものです。(kon)

AGCレポート vol-8 2008年1月30日発行  
発行：日本山岳会・山岳地理クラブ  
〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付  
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441  
編集担当：近藤 E-mail：hikarikon@nifty.com